

## 講義 4 奥田知志さん

2021年1月24日15:40-16:45

# コロナ後に私たちが作りたい 社会とはどんな社会なのか

奥田さんは、長年ホームレスの人々に寄り添い、相模原のやまゆり園障害者殺傷事件では、植松被告に面会されています。今回のコロナ禍では、失業して住居を失う人の居住支援のために、クラウドファンディングで資金集めをされました。

奥田さんのご経験から、コロナ禍で浮き彫りになったもの、コロナ禍前の社会にあった課題は何かを考え、これから私たちが作りたい社会とはどんな社会なのかを考えたいと思います。

(講師プロフィール)

**NPO法人抱樸（ほうぼく） 理事長。**1963年、滋賀県大津市生まれ。関西学院大学神学部修士課程、西南学院大学神学部専攻科をそれぞれ卒業。九州大学大学院博士課程後期単位取得。1990年、東八幡キリスト教会牧師として赴任。ホームレス支援を学生時代から30年以上続けている。NPO法人抱樸は、北九州市において2800人以上のホームレスの人々を自立に導いた。毎日新聞社福祉顕彰など多数の表彰を受け、NHKのドキュメンタリー番組「プロフェッショナル仕事の流儀」に2度取り上げられる。

著書『「逃げおくれた」伴走者：分断された社会で人とつながる』  
(本の種出版、2020年12月)  
共著『生活困窮者への伴走型支援』（明石書店、2014年）  
『「助けて」と言える国へ——人と社会をつなぐ』  
(集英社新書、2013年)



人間発達研究所主催

## 人間発達講座

## 自分づくりを生きる わたし 第3回